

2021年度 メリー★ポピンズ 朝霞台ルーム 事業計画書

1 基本方針

どろんこ会グループの理念に基づき、「にんげん力」の基礎が育まれる保育を実践していく。子どもが自分の感情や意思、選択を十分に表現できるよう、受容的で応答的な保育を心掛ける。様々な人やモノとの関わりで起こるハプニングを積み重ね、子どもがもつ関わる力を育てていく。また、それらを基盤にして、感情をコントロールする力、忍耐力や社会性といった非認知能力の土台を築いていく。

保育園をだれもが気軽に来園できる場所にするために、園から地域への発信を増やしていく。日々の保育に保護者と地域の方を巻き込んで、一緒に子育てをしていく。家庭や地域に向けて子育ての情報や交流の場を提供する。

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

子どもの意欲や主体性が育めるよう、保育者等が一方的に働きかけるのではなく、子どもの自発的な活動としての遊びなどを通じて、様々な学びが積み重ねられるようにする。子どもの気持ちに寄り添い、丁寧な関わりをしていく。職員一人ひとりが中心となって保育の学びを深め、子どもにとって必要なモノを追求していく。限られた環境や資源を最大限に活用し、子どもにとって最善の選択をしながら保育を行う。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

専門知識をもった保育者が保護者と連携を取りながら、その子らしい発達を踏まえて一緒に育てていくことを大切にする。保育者は子育てに悩みや不安を持つ保護者にとって、より良いパートナーとなるよう知識や技術の向上に磨きをかける。また、それらを活かしつつ保護者の立場に立って物事を考え、子育ての喜びをともに分かち合えるように支援する。

〈3〉 地域の子育て支援事業

園内の行事に積極的に家庭や地域を巻き込み、地域に開かれた子育て支援を行っていく。入園前に見学に来られる方も含め、地域の保護者の求める支援をキャッチし、丁寧に応えていく。地域公開講座や寺親屋の場で園の取り組みや子育てにまつわる情報を発信しながら、地域の保護者同士を繋ぐ役割を果たす。

〈4〉 次世代を担う職員育成

改めて法人の理念や方針に対する学びを深め、一つひとつの活動の意義を理解し、丁寧に実践できる職員を育成する。職員一人ひとりが中心となって研修や議論を行い、自身の保育をより良いものにするための知識や技術を自ら獲得していく。

子どもの学びを見逃さず、見守っていけるよう、専門性の向上はもちろん、職員同士のチームワークの向上にも力を入れていく。

〈5〉 子どもが「やってみたい」を実現できる環境作り

保育者は子どもたちの姿や発達を日々の記録や省察から読み取り、その時の子どもにとって必要な環境を考えていく。子ども一人ひとりの内面に注目し、興味や関心の変化、育まれている能力を読み取る。その力を子どもが存分に発揮できるような環境を、日々話し合い整えていく。

また、戸外活動で五感を存分に使って本物に出会う体験を重ね、心動かされたことを言葉や動作で表現する喜びにつなげていく。保育者も子どもと一緒にワクワクする心を持ち、子どもの心の動きに共感したり受け止めたりしながら人的環境も整えていく。

〈6〉 子育て支援の充実と保育の見える化

日々の会話にとどまらず、保育参加や個別面談を積極的に受け入れ、子どもの成長を保護者と保育者が共感できる場を作る。また、日々の対応の中で、離乳食や疾病の初期症状、子どもの育ちに対する疑問や悩みについて、アドバイスが迅速に行えるようにする。

保育参加や保護者参加行事で、日々の保育に気軽に保護者が参加できるよう、園から呼びかけていく。参加できない状況であっても、園での取り組みや子どもたちの育ちを保護者と共感できるように、お便りやアプリ、ポートフォリオなどの記録を活用する。お迎え対応時などの短い時間の中でいかにわかりやすく子どもの成長を伝えられるか、保育者同士で意見を出し合いながら発信力の質を高めていく。

2 児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
9人	12人	12人	0人	0人	0人	33人

3 保育園開所時間

7時00分～20時00分

4 職員配置

常勤職員	11人	保育士	10人	看護師	0人	栄養士	1人	調理員等	0人
パート職員	3人	保育士	3人	補助	0人	事務	0人	調理	0人
		用務	0人						
嘱託職員	0人	嘱託医	0人	言語聴覚士	0人	臨床心理士	0人		

5 運営方針

〈1〉 運営管理を円滑に行うために以下の施設内会議を勤務時間内にて開催します

施設内会議名	頻度	主な内容
園会議	月1回120分	行事の立案及び反省、保育内容の充実における討議
給食運営会議	月1回	アレルギー・離乳食・食育環境・食育計画
ケース会議	月1回	個別配慮を要する子どもについて
事故防止委員会会議	月1回	自園及び系列園における事故事例に基づき討議
クラス会議	月1回	保育内容の検討、子どもの発達について

-2以下の法人が定める施設外会議に勤務時間内にて出席します

施設外会議名	頻度	主な内容
施設長会議	月1回	法人本部より伝達事項、検討事項、運営状況報告
施設長勉強会	月1回	園運営に係る相互学習や検討
食育会議	年4回	給食提供および食育・献立に係る検討、各種マニュアル等の改訂
保健会議	年4回	園全体の保健に係る検討、各種マニュアル等の改訂

〈2〉 各種係を設置し職員全員が参加して運営します

係名	職務内容・役割
衛生管理係	保健衛生管理、安全管理、感染症等の呼びかけ等
危機管理係	ヒヤリハット、インシデントの分析、事故防止
防火管理者	消防計画に則り、災害時や不審者対応に対する取り組み（避難訓練の立案、実行、反省等を含む）
食品衛生責任者	食品の安全に対する管理
畑係	年間畑計画の遂行や畑仕事の確認、整備、管理
環境係	物的環境、人的環境について討議、改善
備品係	備品点検と発注、補充

〈3〉 対外的に以下の係を設置します

係名	職務内容・役割
保護者係	保護者参加行事等において、保護者と協同的に準備・進行を行う
地域係	青空保育、子育て支援等の対外的な広報

6 保育方針

〈1〉 基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none">● 一人ひとりの個性に応じた成長や発達を理解し、適切な援助を行う。● 保育者との愛着形成がしっかりと築かれ、安心できる環境の中で探索活動を楽しみながら五感を育む。● 言葉以外の感情の表出をくみ取り、寄り添い共感していく。
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none">● 一人ひとりの発達にあった全身運動を通して、挑戦する意欲を育て、できた喜びを味わう。● 身のまわりのことに興味を示し、年上の子を真似てみたり保育者と一緒に取り組んでみたりする。● 戸外活動で自然物や生き物に触れ、積極的に関わりをもつ。● 保育者や友達との関わりを通じて、自我や人と関わる力を育む。
保育参加	4～3月	<ul style="list-style-type: none">● 希望する保護者が参加／保育参加アンケートにご記入いただく
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none">● 随時、希望する保護者に対し実施● 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望 への対応	随時	<ul style="list-style-type: none">● 連絡帳・口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い、「苦情受付簿」の活用
運営委員会	年2回	<ul style="list-style-type: none">● 6月と11月に実施予定

〈2〉 年間行事計画

- 2021年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2021年度年間スケジュール」に掲載
- 保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉 給食・食育運営方針

- 発達を踏まえて、子ども一人ひとりの咀嚼力や嚥下の状況に配慮し、素材を味わえるよう、食事の提供をする。また、生活と遊びの中で空腹感を感じ、食べたいと思える環境をつくる。
- 保育者や栄養士と一緒に食事を摂り、食事の時間を「楽しい」「おいしい」「嬉しい」時間とする。好きな人と同じものを一緒に食べるおいしさや、戸外で味わう気持ちよさを経験していけるようにする。
- 家庭との連携を図りながら、保育者・栄養士などの職員がもつそれぞれの専門性を活かし、食を営む力の基礎を作る。家庭で抱える食事への不安や疑問を共に解決し、園での取り組みやそれに対する子どもの反応を積極的に伝えていく。
- 畑仕事や食材の下処理など、食材に触れる機会や調理のプロセスを身近に感じられる取り組みを通じて食への興味を高める。「食べること」と「作ること」の両方を体験し、食材やそれにまつわる環境の大切さを身近に感じられるようにする。

〈4〉 保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
職員健康診断	年1回
職員検便	全職員月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	手洗い指導、歯磨き指導、爪の清潔点検
流行が予測される感染症	通年...新型コロナウイルス 感染予防のためうがい・手洗い指導を行う。3密を作らないよう可能な限り配慮する。 6～8月頃...手足口病、ヘルパンギーナ、アデノウイルス 11～3月頃...インフルエンザ、感染性胃腸炎
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ・・・1名より預かり済み／冷蔵庫内の薬入れにて保管
エピペン使用できる職員	本日現在12名が、研修受講し、習得済み。未受講の新入職員2名については5月の園会議までにレクチャー予定。
AED使用できる職員（AED設置施設のみ）	本日現在名が、研修受講し、習得済み。未受講の新入職員2名については5月の園会議までにレクチャー予定。
その他保健に関する取組	予防接種の確認、薄着の励行、爪のチェック 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉 各種点検

危機管理	設備点検チェック	年6回／5・7・9・11・1・3月の25日
	事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検（備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・11月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全職員
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断 ※認可園のみ歯科検診年1回	年2回／6・11月の30日頃（東京都0歳児のみ年12回実施）
運営管理	児童保護者の人権に関するチェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間

	利用者アンケート調査	年1回
	情報セキュリティチェック	年2回/5・11月

〈6〉 環境整備

子どもの「やってみたい」意欲を大切に、環境を整えていく。音や声の大きさ、見てわかりやすい配置、興味を惹く設定など五感への働きかけなども意識する。戸外では安全配慮をはじめ、子どもが遊びたい場所、遊びたいものを見つけられるように公園の行き先や活動内容を充実させる。保育室内は整理整頓し、清潔に保つことを心掛ける。保育者自身が物を大切に丁寧に扱い、子どもたちにも背中を見せて伝えていく。活発に動ける場所、心を落ち着かせて過ごせる場所を適切に用意しながら、一人ひとりに合った環境を用意する。

7 危機管理(防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ)

- ① 防災…危機管理マニュアルNo.3の災害対策に則り、消防計画、避難訓練、避難訓練開催通知、自衛消防訓練通知、普通救命救急資格取得手続き、防災自主点検、危機管理マニュアルの周知、自衛消防組織と安全対策係の設置、緊急地震速報運用を行う。また、定期的に非常持ち出し品、非常備蓄品、防災準備品の点検を行う。災害発生時には対応フローチャートに従う。
- ② ケガ事故防止…危機管理マニュアルNo.3のケガ事故防止・安全点検と保全に則り、事故防止チェックおよび設備点検チェックの実施、AEDの点検と訓練、安全教育、SIDS防止策、与薬ミス防止策を徹底する。ケガ事故防止のための保育士行動基準を基に室内や戸外での危機管理について職員間で学ぶ。ケガ事故発生時には対応フローチャートに従う。
- ③ 防犯…危機管理マニュアルNo.3の不審者対策に則り、不審者侵入訓練の実施、笛の携帯、代理送迎者の把握、不審者情報の収集と共有を行う。不審者対策は、不審者侵入時フローチャートに従う。
- ④ 光化学スモッグ…危機管理マニュアルNo.3の光化学スモッグ対策に則り、光化学スモッグの知識を身につけ、職員全員が自治体の「光化学スモッグ注意報発令メール配信システム」に登録し、注意報発令の把握を行う。発生時には光化学スモッグ発令時対応フローチャートに従う。

8 実習生・中高生の受入

保育の仕事に興味・関心を持ってもらえるよう、積極的に実習生や中高生の受け入れを行う。地域の職場体験の場を提供し、生徒一人ひとりに応じた援助や指導を行う。子どもが様々な人と関わる機会とし、地域交流の機会、次世代保育者への興味・育成へとつなげていく。実習生に対しては、子どもに必要な体験や保育者に求められる力をリアルに伝えられる存在として指導しながら、保育者のやりがいも存分に伝えていく。

9 職員育成と研修計画

新人研修

- 入社時オリエンテーション
- 現場OJT研修
- 保育品質マニュアル研修
(事務研修・ケガケーススタディ研修含む)
- コンピテンシー研修

保育スキル研修



←お迎え
対応研修

新人社員研修

- 新人社員研修
→ 会場研修
- 系列園保育実地研修



←避難訓練研修

スタッフ研修

- 全社員研修 (年1回)
- 園内研修 (月1回以上)
- 保育スキル研修 (エリア別)
- リーダー養成研修 (9~2月)
- 業務改善研修 (月1回)
(= 保育の質を上げる会議)
- 施設長勉強会 (月1回)
- デンマークインターンシップ (年1回)
- コンピテンシー自己採点 (月1回)
- 人権チェック (4月・10月)
- 外部研修
- 上級救命救急資格取得講習

① 2021年度園内研修計画(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月9日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 人権チェック ③ ハザードマップの見直し	自己の保育を振り返り、目標を立てる。 身近な人権侵害について考える。 園内外の危険個所の確認と、基本活動の意義。
5月14日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 救命救急 ③ 保護者の立場に立つ	自己の保育を振り返り、目標を立てる。 AED、心肺蘇生について学ぶ 来訪者、利用者の視点を持つ
6月11日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 発達を捉える	自己の保育を振り返り、目標を立てる。 発達を捉え、保護者に成長を伝える取り組み。
7月9日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② プロになる	自己の保育を振り返り、目標を立てる。 専門的なスキルや自分の強みを発揮する。
8月13日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 環境構成	自己の保育を振り返り、目標を立てる。 0,1,2歳児の発達を理解し、環境に活かす。
9月10日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 食育	自己の保育を振り返り、目標を立てる。 口腔発達、自分で選んで食べる取り組み。
10月8日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 遊びと表現	自己の保育を振り返り、目標を立てる。 活動の中での表現について。
11月12日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② リスクマネジメント	自己の保育を振り返り、目標を立てる。 保育中の事故、怪我。嘔吐処理ロールプレイ。
12月10日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修	自己の保育を振り返り、目標を立てる。 ポートフォリオで読み取れる子どもの育ち。
1月14日 (金)	19:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保育の振り返り	自己の保育を振り返り、目標を立てる。 行事や記録を含め、保育全体を振り返る
2月中旬	19:00~21:00	① 次年度の目標設定	今年度の振り返りをもとに次年度の目標を決め、 年間の計画を作成する。
3月上旬	15:00~18:00	① 畝作り研修	農業計画を立て、葉焼けやプランターでの栽培に 必要な知識を身につける。

② 2021年度子育てスキル研修計画(エリア共通計画)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	会場	総予算	按分予算
5/28 (金)	18:30-20:00	水の事故	仲町どろんこ	0円	0円
7/23 (金)	18:30-20:00	さくらさくらんぼリズム①	ふじみ野どろんこ	0円	0円
9/22 (水)	18:30-20:00	性教育	朝霞どろんこ	0円	0円
9/28 (火)	18:00-19:00	「子どもの認めてほしいという気持ちを満たす」～ふれあい遊び～	kids 朝霞ルーム	0円	0円
11/20 (土)	10:00-11:00	感染症と歯科について知ろう	志木どろんこ	0円	0円
11/27 (土)	10:00-11:30	幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続～1年生のスタートカリキュラム～	志木駅前ルーム	0円	0円
1/21 (金)	18:30-20:00	さくらさくらんぼリズム②	朝霞どろんこ	0円	0円

③ 外部研修への出席

2～3月実施の「外部研修受講アンケート」に基づき、施設長および運営部が推薦する。

④ 法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修 (保育の質会議)	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
全社員研修	2021年度内に新型コロナウイルスの感染予防策を検討して開催予定。正職員およびパート・アルバイトを含めた14名の職員が出席予定											
リーダー養成研修	選ばれた職員が参加予定											
デモンストレーション	希望する職員が応募											

⑤ 職員個人別育成計画

施設長が年2回（5月16～24日と11月1日～12月9日）実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次半期の目標設定と併せて、次半期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。

10 地域交流計画

戸外で積極的に地域の人との交流を図り、同年代だけでなく異世代の人との関わりも積み重ねていくことで子どものもつ人と関わる力を培う。育児相談や園見学、子育て支援等の取り組みへの参加を積極的に呼びかけていく。保育園と地域の保護者だけでなく、地域の保護者同士のつながりを築く手助けをする。

具体的な地域交流計画

青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：弁財公園にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	老人施設訪問、中高生の職業体験受け入れ
異年齢交流	近隣保育園との交流
地域拠点活動	青空保育や園開放、一時保育、地域公開講座

11 小学校との連携の計画

該当なし

12 要支援児計画

【個別支援計画の作成・見直し】

特別な支援が必要な乳幼児については、個別に保育計画を作成する。家庭や関係機関と連携しながら、計画的かつ継続的に一人ひとりに応じた保育内容や配慮を実践する。

【毎月のケース会議開催】 4～3月に計12回開催予定 参加者：13名予定

職員間で共通理解を図りながら取り組むことを基本とする。

【進級引継、および、小学校への引継】

進級については、連携施設と定期的に交流を図りながら、子どもの様子を共有する。個別の計画記録を基に年度末に引き継ぎを行い、スムーズに連携が取れるようにする。

13 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい月間延来場者数を自治体に報告する。

園開放	(月)～(土) 9:30～16:30
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30
自然食堂...親子ランチ交流	毎週(水) 10:00～12:00
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎週(金) 10:00～12:00
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育	月1回 公園名：弁財公園にて開催

14 福祉サービス第三者評価の受審

受審無し

15 園による自己評価の実施

2021年9月に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：9時00分

自己評価終了予定時刻：16時00分

自己評価実施予定者：施設長、主任、栄養士、職員

16 メリーポピンズ★ 朝霞台ルーム3か年計画の具体化

2021年：子どもの可能性を伸ばし、“遊びが学び”の保育を展開していく

子どもが自分の意思や選択で 사용할 ことができる環境を整え、日々の遊びや表現活動から多くの本物体験を積み重ねていく。身近な大人や異年齢との関りから、様々な「Trial&Error」を体験し、共有しながら“遊びが学び”の経験を得られるようにする。

家庭では味わえない感動体験を保護者にも子どもにも味わってもらう方法を職員一人ひとりが考えていく。

2022年：地域に開かれた保育園を目指して、地域・保護者・園が子育てをする“共育て”をする

保護者に保育参加を積極的に呼びかけたり、地域の人と園外活動でふれ合ったりしながら、子どもの育ちを共有し、喜び合いながら共に子育てをしていく。子どもの生活に関わる様々な人を巻き込み、子どもがもつ人と関わる力を育む保育を実践していく。保護者や地域のニーズに応えながら、自園の目指す子育てを広めるとともに、選ばれる園を目指していく。

2023年：保育について語り合い、学び合い、次世代を担っていく職員を育成する

世の中の動向に目を向け、未来を担う子どもたちの成長に何が必要かを追求できる職員を育成する。子どもが真に必要としている体験についての知識を深め、話し合いながら保育を実践していく。子どもたちは「やってみたい」の実現が保証された環境で、心身ともに豊かに育っていく。

保護者や地域への情報発信力を高め、職員一人ひとりが子どもとすべての大人をつなぐ役割を果たす。

以上